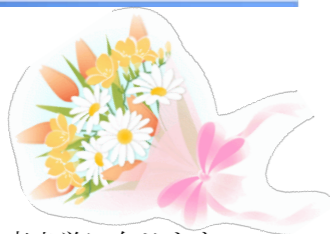


新年度になりました。分析機器使用申請書の提出をお願いいたします。  
新しい機器が導入されています。是非ご活用ください。

### 文部科学大臣表彰 研究支援賞を受賞

この度、令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 研究支援賞「生物学研究への大学共同利用機関コアファシリティの技術貢献」を受賞いたしました。栄誉ある賞を賜りましたことを大変光栄に存じます。



受賞した4名の技術職員と共に室の活動を推進した重信秀治教授並びに市川真理子支援員、浅尾久世支援員、松本美和子支援員、秋田朝日支援員、スタッフ全員の努力が成就したものと感じております。

研究機器を一元的に管理し、質量分析（森友子、牧野由美子）、次世代DNAシーケンス（山口勝司、尾納隆大（現在は青木研））、タンパク質配列解析（牧野由美子）等の担当者が、共同研究者との十分な情報共有の上で最適な実験方法の提案や新規技術開発とその普及に努めた姿勢、及び、所内外向けに定期的に各種トレーニングコースの開催を主導し、データ解析等の技術と知見の継承及び人的ネットワーク形成への貢献が評価されたものと思います。

また、これまでの活動を支えてくださった歴代の分析室委員長、センター長、室の礎を築いて下さったOBの皆様、技術課の仲間、装置の維持管理にサポートいただいた各メーカーのエンジニアの皆様、共同利用研究の研究者の方々、そして、室の活動にご理解とご協力いただいた研究所の皆様には厚く御礼を申し上げます。

これまで次世代DNAシーケンスの簡便、迅速、安価な新規ライブラリ作製方法（Flexible ddRAD-seq法）、質量分析やタンパク質配列解析方法等、高度な解析技術を開発し、研究推進に活用してきました。今回の受賞を励みに、より一層研鑽し、高度で専門的な技術サポートを通じて生物学の研究に寄与できるよう精進して参ります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。（森友子）

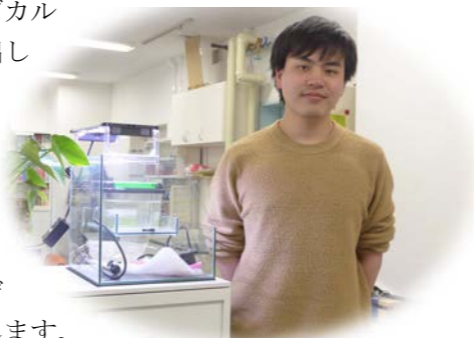
### 新任のご紹介

4月1日付で生物機能情報分析室に配属となりました森祥伍です。以前は基生研の植物環境応答研究部門（森田研）で学生をしておりました。研修も含めてすでに多くの方にお世話になっておりますが、改めてよろしくお願ひします。

ご存知の方もいるかもしれませんが、森田研には横倒しにした珍しい顕微鏡があります。学生の頃はこの顕微鏡を用いて、シロイヌナズナの根の重力屈性に関するLZYというタンパク質をライブイメージングすることに注力しておりました。

趣味は家庭菜園、読書、料理です。野菜やハーブなど、食べられる植物ばかり育てていましたが、最近是有栖川有栖の小説に影響されてサボテンを育てています。本もミステリーやサブカルなど幅広く手を出していますので、お勧めなどがありましたら是非教えてください。

これからどうぞよろしくお願ひします。  
（森祥伍）



### GITC オンライン開催奮闘記

COVID-19の影響で各種学術集会在オンライン開催へ移行を余儀なくされていますが、NIBBゲノムインフォマティクストレーニングコース（GITC）も例外ではありません。これまで3回GITCのオンライン開催を経験し、ようやくコツが掴めてきました。ここでは試行錯誤の過程を少し紹介したいと思います。

レクチャーはZoomを使うことにしました。我々も受講生もZoomには十分に慣れているためスムーズに移行できました。一方、GITCの最大の特徴は、受講生が実際にコンピュータを操作して行うハンズオン演習にあり、このオンライン移行はかなりの難問でした。

岡崎での開催の場合、我々が完璧な解析環境を整えたノートPCを受講生一人一人に準備します。そして数人のフロアサポート要員が常駐し、質問や問題に迅速かつきめ細やかに対応していました。このようなインタラクティブ性の高いサポートはオンラインで可能でしょうか？様々なコミュニケーションツールを探しまわり、初のオンライン開催では、Discordを採用しました。

Discordはオンラインゲーム業界で人気のあるチャットアプリです。リアルタイムで簡単にビデオチャットが可能で、百戦錬磨のゲーマーに支持されているだけ確かによくできたツールだと思います。ただ、実際にGITCで使ってみると、ビデオチャットを利用する参加者は非常に少なく、多くは文字でのやりとりを好むことがわかりました。日常生活にLINEなどによるテキストチャットが浸透していることが背景にあると思われます。

そこで次のコースでは、テキストベースのコミュニケーションツールとして定評のあるSlackを導入しました。その結果、Zoomによる座学とSlackによる個別サポートの両輪がうまく噛み合っており、講師側も学習者側も満足の環境となりました。Slack上では、オンサイトで手を挙げて発言するよりも気軽にコメントしやすいようで、質問が増えて議論が活性化したことはオンラインならではの効果でした。

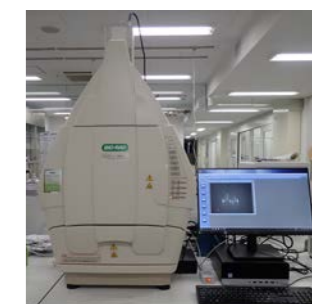
当初オンライン開催はCOVID-19対策の苦肉の策という位置付けでしたが、オンラインならではの良さを評価する声も聞こえてきます。前述の通り質問しやすくなった他に、子供が小さくて出張できない方も参加できるなどです。一方、どうしても人的な交流は難しいです。試行錯誤はまだまだ続きそうです。（重信）



### 新規導入・更新機器

#### 化学発光撮影装置

ChemDoc XRS+ (BIO-RAD社)  
メンブレンの化学発光や、302nmのUV励起でゲル等写真撮影でき、ソフトウェアによる解析が行える機器です。  
（山口）



#### 核酸自動精製装置

Maxwell RSC (Promega社)  
磁性ビーズをベースにした核酸自動精製装置です。  
運用中のQiacube (Qiagen社)と比較して、より簡便な印象。植物RNAの単離に特に評判が良い。  
（山口）



#### 核酸・タンパク質定量蛍光光度計

Qubit 4 Fluorometer (ThermoFisher社)  
WiFi対応、クラウド利用で自身やラボの共用PCにデータ転送可能。  
RNA IQ アッセイという単離RNAの分解度を評価するアプリケーションが新たに追加されました。  
（山口）



#### タンパク質検索システム MASCOTサーバーの更新

MASCOTサーバーの更新とバージョンアップを行いました。これにより検索速度が1.5倍以上速くなりました。これまでの結果をご覧になるには、結果URLに記載の「mserver3」を「mserver4」に変更してください。IPアドレス指定の方はご連絡ください。（牧野）

### あとがき

一昨年の一般公開で配布したアスパラガスがベランダで元気に育っています。エンピツ程の芽が出ましたが、食べようか迷っているうちにもう2mにもなっちゃいました。いつになったら試食できるでしょう。（浅尾）

文部科学大臣表彰 研究支援賞を受賞の連絡を受けてから周囲の反響が大きくて戸惑うとともに、すごい賞なんだと実感しました。縁の下の力持ち的な、技術で研究を支える技術課の存在が評価されたことを嬉しく思います。（牧野）